

防水工事に伴う環境負荷の低減 揮発性有機化合物 (VOC) 対策

■ アスファルトの人体と環境への影響

新築・改修後の建物において、気密性の向上や建材・内装材への化学物質の使用の汎用化等に起因する室内空気汚染等により、居住者の様々な体調不良が生じている状態（シックハウス症候群）が報告されています。この汚染源の一つに揮発性有機化合物（VOC）があります。VOCとは揮発性を有し、大気中で気体状となる有機化合物の総称であり、トルエン、キシレン、酢酸エチル等多種多様な物質が含まれます。

このシックハウス問題が近年注目を浴び、厚生労働省により13物質のVOCの指針値が策定されました。対象物質（13物質）に該当しないアスファルトを主原料として製造されたアスファルト防水はVOC問題からはるかに遠い防水システムであり、施工後も環境にやさしく安心です。

CO₂低減防水工法

東西アス協組ではアスファルト防水の信頼性はそのままに、CO₂を低減した防水工法を開発しています。



▶ 工法紹介: BANKS工法



▶ 工法紹介: エコフィット工法



▶ 工法紹介: ストライプ工法